

遠くの親戚より近くの知人

自分のため、ご近所のため、「ちょっとした気づき」を大切に……

【見守り活動の目的】

- ・ 地域での「孤独死」の防止
- ・ 異常を察知し、命を救う
- ・ 早めにサービス・受診を促す
- ・ 閉じこもりの防止
- ・ 消費者被害を回避
- ・ 簡単な困りごとを住民で対応
- ・ 災害時の避難誘導

地域の皆さんの異常への気づきが、見守りの第一歩となります。

※ 裏面の「異変への気づきのポイント」に☐チェックが一つでも付きましたら、町内会(福祉委員会)・民生児童委員・地域包括支援センター・西部福祉センターに相談・連絡下さい。



困ったとき
異常発生時にも

見守り・声かけ・相談

支援者
(隣近所)

町内行事・サロン活動など

町内会・子ども会
公民館・クラブ活動など

町民
(要支援者)

近親者
(緊急連絡先)

二本木連合町内会
(福祉委員会)
75-9402

民生・児童委員

【異常の察知】

安否確認・支援

【緊急の場合】

西部福祉センター
(72-6616)

(連携)
(情報共有)

地域包括支援センターあん
のんかん(71-3173)

(連携)
(情報共有)

警察署【110番】
消防署【119番】

作野福祉センター
72-4570

ハナ代 97-8069

見守りルート

異変への気づきのポイント例

外観からの気づき

- 屋間でも電気がついたままになっている。



- 何日も同じ洗濯物が干したままになっている。



- 郵便受けに新聞や郵便物がたまっている。



- 異臭がする。



- 庭が荒れている。



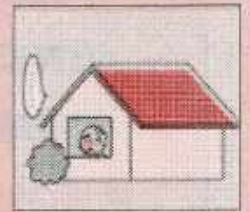
- 家の中から怒鳴り声がある、悲鳴が聞こえる。



- 最近知らない人が出入りしている。



- 家に閉じこもって、ほとんど外に出てこない

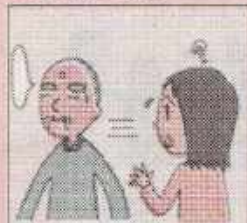


対面での気づき

- 顔色が悪く、具合が悪そうに見える、急に瘦せてきたような気がする。



- 今まで挨拶していたのにしなくなった。



- 話がかみあわなくなった、同じ話を何度もするようになった。



- 暴言を吐くなど、性格が変わった。



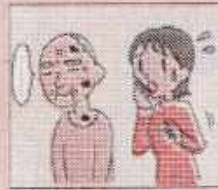
- 髪や服装が乱れている、季節に合わない服を着ている。



- お店などで、勘定ができないう、同じものを大量に購入している。



- 身体(顔や手足等)にあざがある、あざがあるが話したがない。



- 認知症や寝たきりの家族を抱え、介護者が疲れている様子がある。



よく見かける場所等での気づき

- 長い間、顔を見掛けない。



- 町内会・サロン等、地域の集まりや行事にいつも参加しているのに、急に来なくなった。

